

# ( 受学管 8 - 3 )

## 東宇治中学校旧館棟解体工事

建 築		建 築		電 気 設 備		機 械 設 備	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A - 0 1	表紙・図面リスト	3 2	【解体・撤去】部分詳細図	E - 0 1	電気設備工事特記仕様書-1	M - 0 1	機械設備特記仕様書-1
0 2	建築改修工事特記仕様書(1)	3 3	【本館棟】2階平面図	0 2	電気設備工事特記仕様書-2	0 2	機械設備特記仕様書-2
0 3	建築改修工事特記仕様書(2)	3 4	【本館棟】3階平面図	0 3	改修前 配置図	0 3	【旧館棟】【解体・撤去】1階給排水平面図
0 4	建築改修工事特記仕様書(3)	3 5	【本館棟】建具表	0 4	改修後 配置図	0 4	【旧館棟】【解体・撤去】2階給排水平面図
0 5	建築改修工事特記仕様書(4)	3 6	【本館棟】部分詳細図	0 5	改修前 幹線系統図	0 5	【旧館棟】【解体・撤去】衛生機器リスト・1階便所詳細図
0 6	建築改修工事特記仕様書(5)			0 6	改修後 幹線系統図	0 6	【旧館棟】【解体・撤去】2階便所詳細図
0 7	アスベスト対策工事特記仕様書			0 7	改修前 高圧単線結線図	0 7	【旧館棟】【解体・撤去】空調換気機器表
0 8	付近見取図・配置図(改修前)・仮設計画図			0 8	改修後 高圧単線結線図	0 8	【旧館棟】【解体・撤去】空調(GHP)系統図
0 9	仮設計画施工ステップ図			0 9	改修前 幹線リスト	0 9	【旧館棟】【解体・撤去】1階・2階空調平面図
1 0	配置図(改修後)			1 0	改修前 盤図	1 0	【旧館棟】【解体・撤去】3階・R階空調平面図
1 1	【旧館棟】【解体・撤去】外部仕上表			1 1	改修前 自立盤図	1 1	【旧館棟】【解体・撤去】1階・2階換気・計装平面図
1 2	【旧館棟】【解体・撤去】内部仕上表			1 2	改修後 自立盤図	1 2	【旧館棟】【解体・撤去】3階・R階換気・計装平面図
1 3	【旧館棟】【解体・撤去】1階平面図			1 3	改修前 構内配電線路図	1 3	【旧館棟】【解体・撤去】普通教室平面詳細図
1 4	【旧館棟】【解体・撤去】2階平面図			1 4	改修後 構内配電線路図	1 4	【旧館棟】【解体・撤去】ガス配管図
1 5	【旧館棟】【解体・撤去】3階平面図・屋根伏図			1 5	改修前 放送設備	1 5	【旧館棟】【解体・撤去】ガスアイソム図
1 6	【旧館棟】【解体・撤去】立面図・断面図			1 6	改修前 自動火災報知設備	1 6	【旧館棟】【解体・撤去】施工標準図(参考図)
1 7	【旧館棟】【解体・撤去】普通教室平面詳細図・展開図			1 7	改修前 旧館棟 電気設備 1階平面図		
1 8	【旧館棟】【解体・撤去】昇降口平面詳細図・展開図			1 8	改修前 旧館棟 電気設備 2階平面図		
1 9	【旧館棟】【解体・撤去】建具表(1)			1 9	改修前 旧館棟 電気設備 3階平面図		
2 0	【旧館棟】【解体・撤去】建具表(2)			2 0	改修前 旧館棟 立面図		
2 1	【旧館棟】【解体・撤去】部分詳細図(1)			2 1	空調系統図		
2 2	【旧館棟】【解体・撤去】部分詳細図(2)			2 2	改修前 旧館棟 空調幹線動力1・2F平面図		
2 3	【旧館棟】【解体・撤去】伏図(1)・部材リスト			2 3	改修前 旧館棟 空調幹線動力3・RF平面図		
2 4	【旧館棟】【解体・撤去】伏図(2)			2 4	改修前 旧館棟 換気制御1・2F平面図		
2 5	【旧館棟】【解体・撤去】昇降口伏図・軸組図			2 5	改修前 旧館棟 換気制御3・RF平面図		
2 6	【旧館棟】【解体・撤去】部材リスト・架構詳細図			2 6	改修前後 本館棟 緊急通報設備等 北立面図		
2 7	【旧館棟】【解体・撤去】ブレース詳細図			2 7	改修前 旧館棟 緊急通報1・2F平面図		
2 8	【旧館棟】【解体・撤去】ブレース部分詳細図			2 8	改修前 旧館棟 緊急通報3・RF平面図		
2 9	【旧館棟】【解体・撤去】渡り廊下 平面詳細図			2 9	改修前 構内情報通信網設備		
3 0	【旧館棟】【解体・撤去】渡り廊下 断面詳細図			3 0	改修前 旧館棟 構内情報通信網設備1・2F平面図		
3 1	【旧館棟】【解体・撤去】屋内運動場渡り廊下詳細図			3 1	改修前 旧館棟 構内情報通信網設備3・RF平面図		



章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項															
2	工事用水	構内既存の施設 利用できない 利用できる ( 有償 無償 )	2	10 構造体強度補正值 (6.3.2)	気温による構造体強度補正值 (S) (表6.3.2)	3	防水改修工事	断熱材 (屋根保護防水断熱工法) 厚さ _____ mm	3	防水改修工事	接着工法の場合で、P Cコンクリート部材下地の場合 目地処理 図示による _____ 入隅部の増張り (S-F 1、S-I-F 1 の場合) 図示による _____ 絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート 発泡ポリエチレンシート _____ 仕上げ塗料 加- _____ シM'- _____ 脱気装置 (絶縁工法) 設ける 材種 ( ) 設置数量 (1箇所/ _____ m <sup>2</sup> ) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を品質計画により定めること。 固定金具の材質及び目地形状 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板で、厚さ0.4mm以上のもの															
	工事用電力	構内既存の施設 利用できない 利用できる ( 有償 無償 )		11 コンクリートの試験 (6.9.2) ~ (6.9.5)	予想平均気温 ( ) 補正值							断熱材 (屋根露出防水断熱工法) 厚さ _____ mm	ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 図示による _____													
2	仮囲い等	図示による _____	2	12 軽量コンクリート (6.10.1) ~ (6.10.3)	常時土又は水に直接接する部分の使用 可 不可	4	改質アスファルトシート防水 (3.4.2) ~ (3.4.4)	保護層 平場の保護コンクリート厚さ _____ mm	7	漏水試験	水張り試験を行う ( 屋内 屋外 )															
	設計 G L	図示による 設計 G L = 現状 G L		13 寒中コンクリート (6.11.1)	予想平均気温が表6.3.2に示す予想平均気温未満の場合には標仕第6章第11節 (寒中コンクリート) による。							立上り部の押え金物 アルミニウム製 L-30×15×2.0	7	保証書	受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)											
2	1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)	A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め その他 (材料 _____ 工法 _____) 建設発生土 (盛土材) の外部分からの受入土量 ( _____ m <sup>3</sup> ) 発生場所 ( )	2	14 暑中コンクリート (6.12.2)	暑中における構造体強度補正值 (S)	5	合成高分子系I-フィングシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ 50 _____ mm	7	8 保証書	受注者、防水施工業者、防水材料メーカーの連名による保証書を提出すること。 (保証年限は工事目的物引渡しより10年間以上とする。)															
	2 建設発生土の処理 (3.2.5)	下記に定めるほかは、現場説明書による 構外指示の受入場所に処分 受入場所 (一財) 城陽山砂利採取地整備公社 土壌調査 行う (受入場所指定の検査) 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 構内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所にたい積		14 暑中コンクリート (6.12.2)	地域 日平均気温が25度を超える期間 (打設日) 補正值							立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法 アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度	7	9 施工標識	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付け。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 設置数量 ( 1 ) 箇所											
3	3 鉄筋の種類 (5.2.1)	異形鉄筋	3	3 既存防水の処理 (3.1.4) (3.2.3) ~ (3.2.5)	既存保護層の撤去 行う (範囲 図示による ) 行わない 既存防水層の撤去 行う (範囲 図示による ) 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 行う ( M4AS M4ASI M4C M4DI L4X ) 行わない	5	合成高分子系I-フィングシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ 50 _____ mm	7	9 施工標識	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付け。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 設置数量 ( 1 ) 箇所															
	4 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 _____ mm		3 既存下地の処理 (3.2.6)	既存下地の修正箇所の形状、長さ、数量等 図示による _____							断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ 50 _____ mm	7	シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)	シーリング材の種類 改修標仕 表3.7.1による シーリング改修工法及び施工箇所 改修工法の種別 施工箇所 シーリング充填工法 図示 シーリング再充填工法 図示 拡幅シーリング再充填工法 ブリッジ工法											
6	5 コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 普通コンクリート _____ (表6.2.1)	3	3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	屋根保護防水工法	5	合成高分子系I-フィングシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ 50 _____ mm	7	9 施工標識	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付け。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 設置数量 ( 1 ) 箇所															
	6 コンクリートの強度 (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) 打設部位 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) スランプ (cm) 備考 構造体 基礎 2.4 1.5 1.8 上部 2.4 1.5 1.8 土間スラブを含む 土間コンクリート 1.8 1.5 1.8 側溝・犬走り 捨コンクリート 1.8 1.5 1.8 軽量コンクリート 2.1 2.1 1.8 無筋コンクリート 1.8 1.5 1.8 標仕6.14.1による		3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	屋根露出防水工法							断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ 50 _____ mm	7	シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)	シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 種別ごと) _____ 引張接着性試験 (部位 _____)											
7	7 セメントの種類 (6.3.1)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 (適用箇所 _____) シリカセメント フライアッシュセメントB種 (施工箇所 _____)	3	3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	屋根露出防水工法	5	合成高分子系I-フィングシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ 50 _____ mm	7	9 施工標識	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付け。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 設置数量 ( 1 ) 箇所															
	8 骨材 (6.3.1)	粗骨材 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 鋼スラグ 圧入コークススラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A (無害) _____		3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	屋根露出防水工法							断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ 50 _____ mm	7	シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)	シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 種別ごと) _____ 引張接着性試験 (部位 _____)											
9	9 混和材料 (6.3.1)	混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の種 (JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、種若しくは種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフェーム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)	3	3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	屋内防水工法	5	合成高分子系I-フィングシート防水 (3.5.2) ~ (3.5.4)	断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ 50 _____ mm	7	9 施工標識	工事完了後に監督職員の指示する位置へ取り付け。 材質 真鍮製エッチング仕上 150×100 設置数量 ( 1 ) 箇所															
	2 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)	A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め その他 (材料 _____ 工法 _____) 建設発生土 (盛土材) の外部分からの受入土量 ( _____ m <sup>3</sup> ) 発生場所 ( )		3 アスファルト防水 (3.3.2) ~ (3.3.5)	屋内防水工法							断熱材 (断熱工法) 厚さ _____ 50 _____ mm	7	シーリング (3.1.4) (3.7.2) ~ (3.7.8)	シーリングの試験 簡易接着性試験 (部位 種別ごと) _____ 引張接着性試験 (部位 _____)											
1	1 埋め戻し及び盛土 (3.2.3)	A種 砂質土 (山砂の類) を水締め又は機器による締固め B種 根切り土の中の良質土を機器による締固め C種 他現場の建設発生土の中の良質土を機器による締固め D種 再生コンクリート砂を水締め又は機器による締固め その他 (材料 _____ 工法 _____) 建設発生土 (盛土材) の外部分からの受入土量 ( _____ m <sup>3</sup> ) 発生場所 ( )	2	2 建設発生土の処理 (3.2.5)	下記に定めるほかは、現場説明書による 構外指示の受入場所に処分 受入場所 (一財) 城陽山砂利採取地整備公社 土壌調査 行う (受入場所指定の検査) 京都府土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例 施行規則第7条第3項13号及び第4項に規定する方法 仮置場所 構内指示の場所に敷き均し 構内指示の場所にたい積	3	3 鉄筋の種類 (5.2.1)	異形鉄筋	4	4 溶接金網 (5.2.2)	網目の形状、寸法 _____ 鉄線の径 _____ mm	5	5 コンクリートの種類 (6.2.1)	種類 普通コンクリート _____ (表6.2.1)	6	6 コンクリートの強度 (6.2.4) (6.10.2) (6.14.1)	設計基準強度 (F <sub>c</sub> ) 打設部位 F <sub>c</sub> (N/mm <sup>2</sup> ) スランプ (cm) 備考 構造体 基礎 2.4 1.5 1.8 上部 2.4 1.5 1.8 土間スラブを含む 土間コンクリート 1.8 1.5 1.8 側溝・犬走り 捨コンクリート 1.8 1.5 1.8 軽量コンクリート 2.1 2.1 1.8 無筋コンクリート 1.8 1.5 1.8 標仕6.14.1による	7	7 セメントの種類 (6.3.1)	普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 高炉セメントB種 (適用箇所 _____) シリカセメント フライアッシュセメントB種 (施工箇所 _____)	8	8 骨材 (6.3.1)	粗骨材 砂利 (JIS A5308)、砕石 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 再生骨材H 細骨材 砂 (JIS A5308)、砕砂 (JIS A5005) 高炉スラグ 電気炉酸化スラグ 鋼スラグ 圧入コークススラグ 再生骨材H アルカリシリカ反応性による区分 A (無害) _____	9	9 混和材料 (6.3.1)	混和剤 AE剤、AE減水剤又は高性能AE減水剤の種 (JIS A 6204) 防錆剤 鉄筋コンクリート用防錆剤 (JIS A 6025) 混和材 フライアッシュ (JIS A 6201) 種、種若しくは種 コンクリート用高炉スラグ微粉末 (JIS A 6206) コンクリート用シリカフェーム (JIS A 6207) コンクリート用膨張材 (JIS A 6202)



章 6 内装 改修 工事	項 目	特 記 事 項						
		パーティクルボード						
		使用箇所	厚さ	各種区分				
			15mm	1.3 Pタイプ又は1.3 Mタイプ				
		JAS 0360 に基づく構造用パネル						
		使用箇所	等級	厚さ				
MDF								
使用箇所	厚さ	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤 による区分	難燃性に よる区分			
造作化粧面の釘打ち								
隠し釘打ち	釘頭埋め木	つぶし頭釘打ち	釘頭現し					
諸金物の形状、寸法及び材質								
かすがい、座金、箱金物及び短冊金物は、表6.5.3から表6.5.5までに示す程度の市販品で、木材の寸法に応じた適切なものとし、コンクリート埋込部を除き、表8.20.1 [鉄鋼の亜鉛めっきの種類] のF程度の亜鉛めっきを施したもの								
防腐・防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位								
薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理								
適用部材	保存処理性能区分							
	K 2	K 3	K 4					
	K 2	K 3	K 4					
薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理								
適用部材	処理の方法	薬剤の種類						
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品						
薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 適用部位								
合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位								
防虫処理 行う (範囲/ラワン材等 「製材の日本農林規格」による保存処理 K1) 行わない								
6 軽量鉄骨天井 (6.6.2) ~ (6.6.4)	項 目	野線等の種類 屋内 19型 25型 (表6.6.1)						
		野線受け・つりボルト・インサートの間隔 _____ mm						
		周辺部の端からの寸法 _____ mm						
		野線の間隔 _____ mm						
はずれ留め補強 有り 無し								
既存の埋込みインサートの使用 再利用しない 再利用する								
あと施工アンカーの引抜き試験 行う( _____箇所以上、 _____箇所) 行わない								
開口補強								
つりボルト間隔が900mmを超える場合の補強方法 図示による								
天井のふところの補強								
(1.5m以上3m以下) 改修仕様6.6.4(8)による _____								
(3mを超える) 図示による _____								
天井下地材における耐震性を考慮した補強 行う 行わない								
屋外の軒天井、ピロティ天井等における耐風圧性を考慮した補強 行う 行わない								
7 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	項 目	スタッド、ランナ等の種類 (表6.7.1)						
		表6.7.1におけるスタッドの高さによる区分に応じた種類						
スタッドの高さが5mを超える場合 図示による _____								
8 ビニル床シート、 ビニル床タイル 及びゴム床タイル 張り (6.8.2)	項 目	ビニル床シート						
		区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	工 法	施工箇所
		発泡層無	単層ビニル床シート	T S	2.5 2.0	無地 マーブル 柄物	熱溶接	仕上表に よる
			複層ビニル床シート	F S				
発泡層有	発泡複層ビニル床シート	H S						
	クッションフロア	K S						

章 6 内装 改修 工事	項 目	特 記 事 項						
		ビニル床タイル						
		区分	種 類	記号	厚さ(mm)	色 柄	寸 法	施工箇所
		接着形	コボ'ジ'ヨ'ル'ビ'ニ'ル'床'タ'イ'ル	K T	2.0 3.0	無地 ○ 柄物	300×300 ○450×450	
			単層ビニル床タイル	T T	2.0			
			複層ビニル床タイル	F T	2.0 2.5 3.0			
		置敷形	置敷きビニル床タイル	F O A	4.0		500×500	
			薄型置敷きビニル床タイル	F O B			○	
		帯電防止床シート						
		種 類	性 能	厚 さ (mm)				
	体積抵抗値	1.0×10 <sup>9</sup> 以下						
視覚障害者用床タイル								
種 類	形 状		備 考					
	塩化ビニル系	3 0 0mm角						
	レジンコンクリート系	1 5 0mm角						
	磁器又はせっ器質タイル							
耐動荷重性床シート								
種 類	厚 さ (mm)		備 考					
防滑性床シート								
種 類	寸 法		厚 さ (mm)					
ビニル幅木								
種 類	高 さ (mm)		厚 さ (mm)					
	軟質 硬質	60 75 100	1.5 2.0					
ゴム床タイル張り								
色 柄	種 類	厚 さ (mm)	寸 法 (mm)					
	単層品 複層品							
織じゅうたん								
種 別	織り方	パイル形状	帯電性	色柄	接合方法	施 工 箇 所		
A種			適用	無地	ヒトバ'ンド'工法			
B種					つづり縫い			
C種								
タフテッドカーペット								
パイル形状	パイル長さ(mm)	工 法	帯電性	施 工 箇 所				
		クリ'パ'-工法 全面接着工法	適用					
タイルカーペット								
種別	パイル形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	施 工 箇 所				
一種	ループパイル	500×500	6.5					
二種								
タイルカーペットの敷き方								
平場部分	市松敷き							
階段部分	模様流し							
接着剤のホルムアルデヒド放散量								
下敷き材	JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号 呼び厚さ8mm							
見切り、押さえ金物 材質、形状等 図示による								
章 6 内装 改修 工事	項 目	合成樹脂塗床						
		(6.10.2)						
		(6.10.3)						
		厚膜型塗床材						
弾性ウレタン樹脂系塗床材								
平滑仕上げ 防汚仕上げ つや消し仕上げ								
塗厚(mm) _____								
エポキシ樹脂系塗床材								
薄膜流しのべ工法 ( 平滑 防汚 )								
厚膜流しのべ工法 ( 平滑 防汚 )								
樹脂モルタル工法 ( 平滑 防汚 )								
薄膜型塗床材								
エポキシ樹脂系塗床材								
塗床材料のホルムアルデヒド放散量 F _____								

章 6 内装 改修 工事	項 目	特 記 事 項					
		11 フローリング張り (6.11.2) ~ (6.11.6)					
		フローリングのホルムアルデヒド放散量 改修仕様6.11.2(2)による					
		接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____					
		単層フローリング (表6.11.1)~(表6.11.6)					
		種 類	樹 種	厚さ(mm)	大きさ	工 法	備 考
		フロー'リ'ン'グ'ホ'ー'ド'1'等	なら	15 12 8	表6.11.1 表6.11.3 表6.11.5	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法	
		フロー'リ'ン'グ'ホ'ー'ド'1'等	なら	8 15		接着工法	防水処理足金物付
		複合フローリング					
		種 類	樹 種	厚さ(mm)	工 法	種 別	備 考
1×6タイプ フロー'リ'ン'グ' ホ'ー'ド'タイプ	なら	8 15	釘留め工法 根太張り工法 直張り工法 接着工法	A種 B種 C種			
接着工法のフローリング裏面の不陸緩衝材 合成樹脂発泡シート							
仕上げ塗装							
ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形) B種							
オイルステインの上ワックス塗り 生地のままワックス塗り							
12 畳敷き (6.12.2)	項 目	種別 A種 B種 C種 D種 (KT- _____)					
		衝撃緩和型畳 (畳表: C1 C2)					
13 せっこうボード、 その他ボード 及び合板張り (6.13.2) (6.13.3)	項 目	MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量					
		F _____					
合板のホルムアルデヒド放散量 改修仕様6.13.2(2)の(a)~(d)のいずれか							
接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____							
表面への化粧張り等の加工 図示による _____							
種別 表6.13.1によるJIS規格品とする (表6.13.1)							
種 類 規 格、厚 さ (mm) 等							
せっこうボード(GB-R) 12.5(不燃) 9.5(準不燃)							
化粧せっこうボード(GB-D) 杉板模様 12.5(不燃)							
トーパーチン模様 (軽鉄下地は専用のものとする)							
不燃積層せっこうボード(GB-NC) トーパーチン模様 9.5(不燃)							
模様なし							
シーリングせっこうボード(GB-S) 15(不燃) 12.5(準不燃) 9.5(準不燃)							
強化せっこうボード(GB-F) 21(不燃) 15(不燃) 12.5(不燃)							
ロックウール吸音ボード(RW-B) 25							
グラスウール吸音ボード(GW-B) 25							
吸音あなあきせっこうボード(GB-P) 9.5(準不燃)							
ロックウール化粧吸音板(DR)							
内部用 フラット 12(不燃) 9(不燃)							
立体模様 15(不燃) 12(不燃)							
軒天用 フラット 12(不燃) 9(不燃)							
立体模様 15(不燃) 12(不燃)							
けい酸カルシウム板(0.8FK) タイプ2 (無石綿) 8.0 6.0							
メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 による 1.2							
難燃木毛セメント板 30 25 20 15							
断熱木毛セメント板 30 25 20 15							
火山性ガラス質被覆層板							
研磨品 ( 3 6 9 9.5 _____ )							
無研磨品 ( 3 6 9 9.5 _____ )							
普通合板							
厚さ 接着の程度 表板樹種							
板面の品質 防虫処理 行う							
天然木化粧合板							
厚さ 接着の程度							
化粧板樹種 なら しおじ 防虫処理 行う							
特殊加工化粧合板							
厚さ 接着の程度 化粧加工の方法							
表面性能 F FW W WS 防虫処理 行う							
その他下張り用合板							
合板類の張付け (表6.13.3)							
A種 B種							
せっこうボードの目地処理 (表6.13.5)							
継目処理 突付け 目透かし							
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 (表6.13.5)							
ベベルエッジ スクエアエッジ							

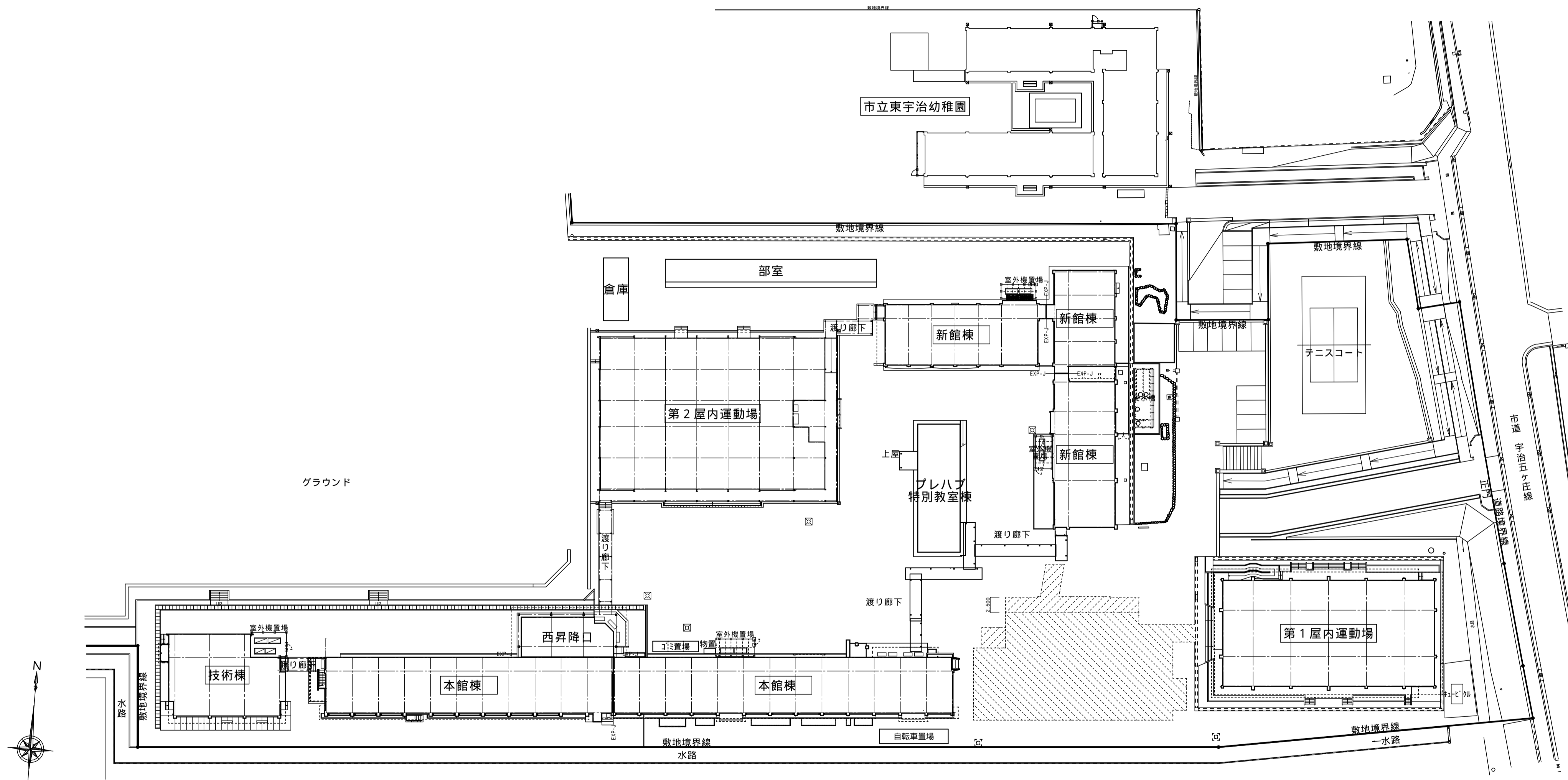
章 6 内装 改修 工事	項 目	特 記 事 項						
		14 壁紙張り (6.14.2) (6.14.3)						
		防火性能・種別・規格・施工箇所 図示による 下表による						
		施 行 箇 所	防火性能	品 質	規 格			
		素地ごしらえ モルタル及びせっこうプaster面 A種 B種 (表7.2.4)						
		コンクリート面 A種 B種 (表7.2.5)						
		せっこうボード面及びその他のボード面 A種 B種 (表7.2.7)						
		15 天井廻り縁	項 目	材質 アルミニウム製 塩化ビニル製				
16 モルタル塗り (6.15.2) ~ (6.15.6)	項 目	モルタル 現場調合材料						
		既調合材料 ( _____ )						
既製目地材 設ける (形状 _____)								
床目地 設ける 設けない								
目地の種類 押目地 _____								
目地割り 2m程度 _____								
最大目地間隔 3m程度 _____								
17 タイル張り (6.16.2) ~ (6.16.4)	項 目	伸縮調整目地等 床面 縦・横とも4m以内ごと _____						
		壁面 図示による _____						
タイルの試験張り 行わない 行う								
タイルの見本焼 行わない 行う								
施工後の確認及び試験								
浮きの確認 全面打診による確認を行う								
接着力の試験 接着力試験機による引張接着強度の測定を行う 行わない								
タイルの種類								
施工箇所・形状・ タイルの種類	寸法(mm)	生地	釉 薬	耐凍害性	耐滑り性	役 物	色	工 法 その他
		磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注	
		磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注	
		磁器 陶器 せっ器	無釉 施釉	有り 無し		有り 無し	標準 特注	
壁タイル張りの工法								
内装タイル								
密着張り 改良圧着張り								
内装タイル以外のユニットタイル								
マスク張り モザイクタイル張り								
内装タイル接着張りの有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 F _____								
既調合モルタル _____								
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目荒し工法 _____								
18 セルフレベリング 材塗り (6.17.2) ~ (6.17.3)	項 目	塗厚(mm) 10 15 _____						
章 7 塗装 改修 工事	項 目	7.1.3						
		7.2.1 ~ (7.2.7)						
		塗装材料						
		塗料のホルムアルデヒド等の放散量 F _____						
		下地調整						
		塗替えで下地調整の種別がB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す 図示 (表7.2.1)~(表7.2.7)						
		素 地 種 別 備 考						
		木部	R A種 不透明塗料塗りの場合はR B種					
			R C種					
		鉄鋼面	R A種 R B種					
	R C種							
亜鉛めっき鋼面	R A種 R B種							
	R C種							
モルタル及び せっこうプラ'ク'面	R A種 R B種	ひび割れ部の補修	適用する	適用しない				
コン'クリ'ート面及び A L Cパネル面	R A種 R B種	ひび割れ部の補修	適用する	適用しない				
コン'クリ'ート面及び 押出成形セ'メント'面	R A種 R B種	ひび割れ部の補修	適用する	適用しない				
コン'クリ'ート面及び その他'ホ'ー'ド'面	R A種 R B種	ひび割れ部の補修	適用する	適用しない				
	R C種							



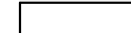
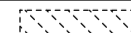
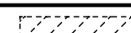









○ 凡例

	既設建物を示す
	砂利敷き範囲を示す
	アスファルト舗装範囲を示す

1/100	1/300	1/500	1/900	1/1500	1/2500	1/5000
-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------

 株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎友也				設計	決裁	課長	係長	係
設計番号	設計年度	令和	年	月				

工事名	東宇治中学校旧館棟解体工事
-----	---------------

図名	配置図(改修後)
----	----------

縮尺	図番
A2 1/500	A - 10
A3 70.7%	

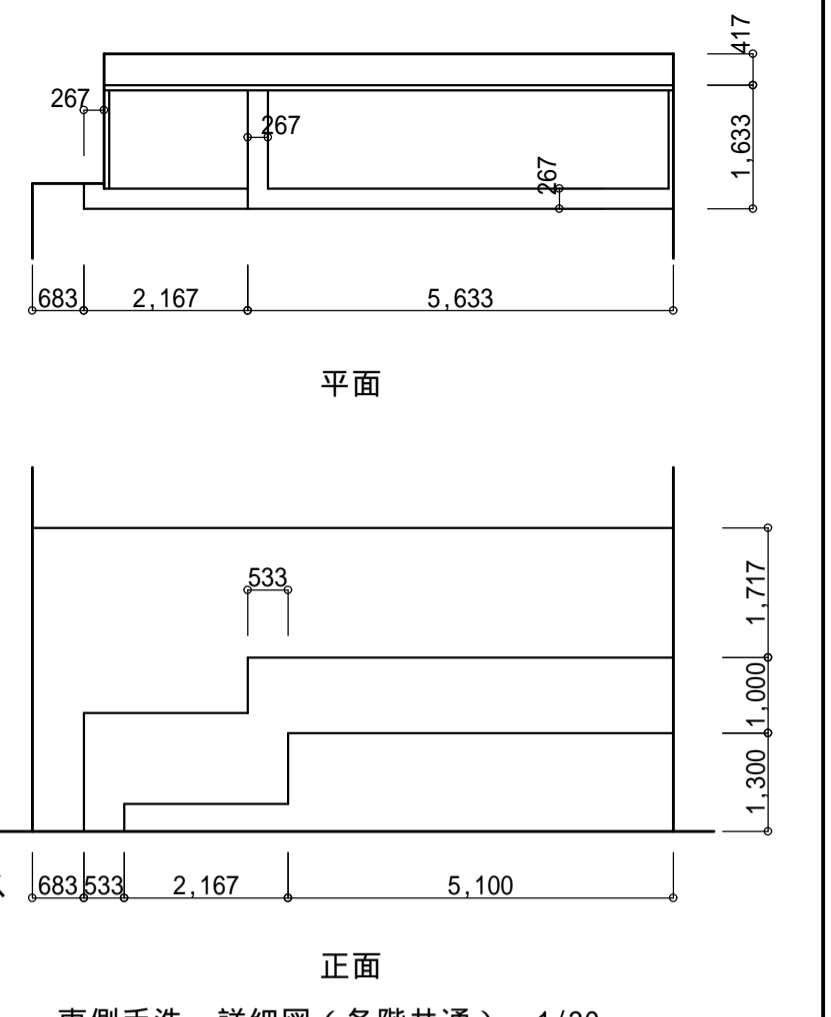
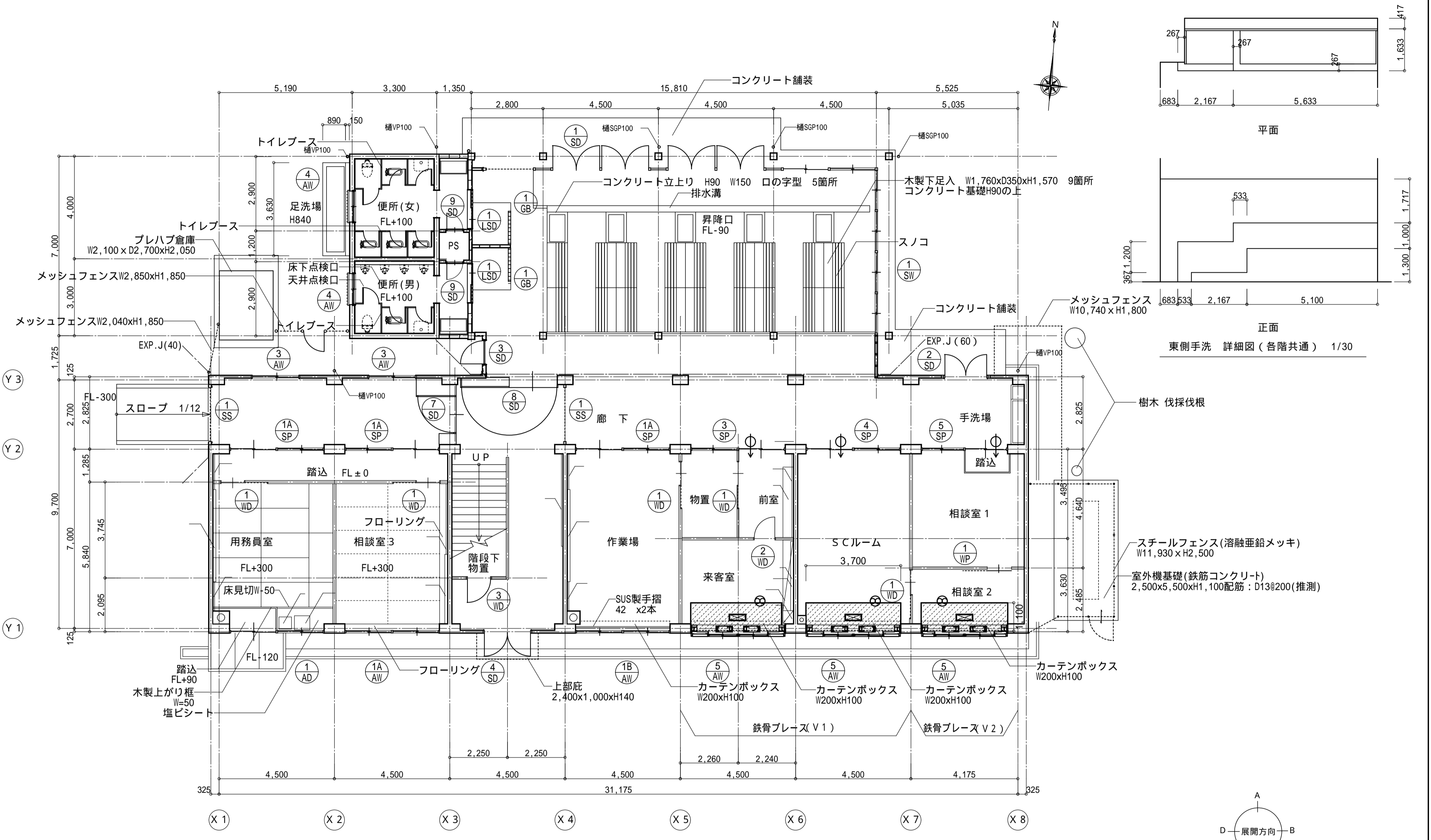
特記

外部仕上表		改修前仕上の [ ] 文字はアスベスト含有建材を示す。(吹付材は下地調整材にアスベスト含有)
部 位	仕 上	
屋上	平場部：下地モルタルt=20 [アスファルト防水] 押えコンクリートt=45 防水モルタルt=20 立上部：アスファルト防水 保護材t=20	
パラペット	防水モルタルこて押えt=20	
外壁	コンクリート打放しの上 [アクリルリシン吹付] 目地部コーキング ブレース部 ALC t=100の上外装薄塗材E	
庇	天端：コンクリート直押工下地 防水モルタル塗 庇裏：コンクリート打放しの上 [アクリルリシン吹付]	
巾木	モルタルこて押えt=20	
犬走	土間コンクリート t=90 配筋：D10@200(推測)	

特 記	1/100	1/300	1/500	設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
					裁				東宇治中学校旧館棟解体工事	【旧館棟】 【解体・撤去】外部仕上表	A2 _____ A3 _____	A - 11
				設計番号	設計年度	令和	年	月				

内部仕上表 改修前仕上の [ ] 文字はアスベスト含有建材を示す。

階	室名	廊下FL±0 コンクリート天端	天井高	床			巾木			腰・壁・柱型			天井・梁型			廻縁	造り付け家具類その他
				下地	仕上	塗装	仕上	高さ	塗装	下地	仕上	塗装	下地	仕上	塗装		
1階	昇降口	-90 -120	2,690 2,600	モルタルこて押え t=30	塗床		モルタル t=20	100	EP塗	RC	モルタル押I	EP塗	LGS19型	ケイ酸カルシウム板 t=6	VP塗	塩ビ製	木製下足入 W1,760xD350xH1,570 9箇所
	便所(男女共通)	±0 -30	2,500	モルタルこて押え t=30	長尺塩ビシート t=2.0		木製巾木	100	SOP塗	RC	[GB-R] t=12.5 [化粧ケイ酸カルシウム板] t=8		LGS19型	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	トイレブース 床下点検口 SUS製600角x1 天井点検口 アルミ製450角x1
	廊下 階段室	±0 -30	直天井 3,275	モルタルこて押え t=30	塗床		モルタル t=20	100	EP塗	RC	モルタル押I	EP塗	RC	打放し補修	EP塗	—	コンクリート製手洗い 掲示板 W3,600xH1,200
	用務員室	+300 -30	直天井 2,760	根太 45×45 @360 大引 90×45 @900 (7ヶ所 9 @900)	畳敷 t=55 70-リソク t=15の上長尺塩ビシート t=2.0 踏込:モルタルこて押えの上塩ビシート t=2.0		畳寄 25x40			RC 木製下地	モルタルt=20 [GB-R] t=12.5 ビニルクロス貼	EP塗	RC RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	アルミ製カーテンレール(V字吊)
	相談室3	+300 -30	直天井 2,800	根太 45×45 @360 大引 90×45 @900 (7ヶ所 9 @900)	畳敷 t=55の上カーベット敷き t=6.5 70-リソク t=15		畳寄 25x40			RC 木製下地	モルタルt=20 [GB-R] t=12.5 ビニルクロス貼	EP塗	RC RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	ホワイトボード W2,700xH900
	踏込	±0 -30	直天井 3,040	モルタルこて押え t=30	70-リソク t=15		木製巾木	100	SOP塗	RC 木製下地	モルタルt=20 [GB-R] t=12.5 ビニルクロス貼	EP塗	RC RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	
	階段下物置	±0 -30		モルタルこて押え t=30	モルタルこて押えのまま					RC	モルタルt=20		RC	モルタルt=20	—	—	
	作業場	±0 -30	直天井 3,060	モルタルこて押え t=30	70-リソク t=15		木製巾木	105	SOP塗	RC 木製下地	モルタルt=20 合板t=12	EP塗	RC RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	黒板 W3,650xH1,370 掲示板 W1,365xH1,200 2箇所 SUS製手摺(2段) 42
	前室	±0 -30	直天井 3,075	モルタルこて押え t=30	70-リソク t=15		塩ビ製巾木	100		RC 木製下地	モルタルt=20 [GB-R] t=12.5 ビニルクロス貼	EP塗	RC RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	
	物置	±0 -30	直天井 3,075	モルタルこて押え t=30	70-リソク t=15					RC 木製下地	モルタルt=20 合板t=12	EP塗	RC RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	
	来客室	±0 -100	直天井 3,100	木製床組+合板t=12 フローリングt=15 一部鋼製床組+合板t=12	タイルカーベット t=6.5		木製巾木	100	EP-G塗	RC 木製下地 LGS下地	モルタルt=20 [GB-R] t=12.5 ビニルクロス貼 ケイ酸カルシウム板 t=8二重張	EP塗 EP-G塗	RC RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	木製ロッカー W6,535×D425xH900 木製掃除用具入 W500xD410xH1,780 カーテンボックス、カーテンレール
	SCルーム	±0 -100	直天井 3,100	木製床組+合板t=12 一部鋼製床組+合板t=12	フローリング t=15		木製巾木	100	EP-G塗	RC 木製下地 LGS下地	モルタルt=20 [GB-R] t=12.5 ビニルクロス貼 ケイ酸カルシウム板 t=8二重張+ビニルクロス	EP塗	RC RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	カーテンボックス、カーテンレール
	相談室2	±0 -100	直天井 3,100	木製床組+合板t=12 フローリングt=15 一部鋼製床組+合板t=12	長尺塩ビシート t=2.0		木製巾木	90	EP-G塗	RC 木製下地 LGS下地	モルタルt=20 [GB-R] t=12.5 ビニルクロス貼 ケイ酸カルシウム板 t=8二重張+ビニルクロス	EP塗	RC RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	カーテンボックス、カーテンレール
	相談室1	±0 -100	直天井 3,100	木製床組+合板t=12 フローリングt=15	カーベットt=6.5 踏込部:長尺塩ビシート t=2.0 SUS製の字型見切		木製巾木	90	EP-G塗	RC 木製下地	モルタルt=20 ビニルクロス貼 [GB-R] t=12.5 ビニルクロス貼	EP塗	RC RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	
2階	便所(男女共通)	+370 +340	2,500	モルタルこて押え t=30	長尺塩ビシート t=2.0		木製巾木	100	SOP塗	RC	[GB-R] t=12.5 [化粧ケイ酸カルシウム板] t=8		LGS19型	GB-D t=9.5	—	塩ビ製	トイレブース
	廊下 階段室	±0 -30	直天井 3,275	モルタルこて押え t=30	塗床		モルタル t=20	100	EP塗	RC	モルタル押I	EP塗	RC	打放し補修	EP塗	—	コンクリート製手洗い
3階	普通教室 (共通)	+20 -30	3,100	木製床組+合板t=12	フローリング t=18		木製巾木	100	SOP塗	RC	モルタル押I	EP塗	RC	打放し補修の上 [リソ吹付] 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	
	廊下 階段室	±0 -30	直天井 3,345	モルタルこて押え t=30	塗床		モルタル t=20	100	EP塗	RC	モルタル押I	EP塗	RC	打放し補修	EP塗	—	コンクリート製手洗い
	普通教室 (共通)	+20 -30	3,020	モルタルこて押え t=30	フローリング t=15		モルタル t=20	100	EP塗	RC	モルタル押I	EP塗	LGS19型 RC	GB-D t=9.5 梁型:モルタル押I	— EP塗	—	



東側手洗 詳細図 (各階共通) 1/30

樹木 伐採伐根

鋼製床組範囲を示す

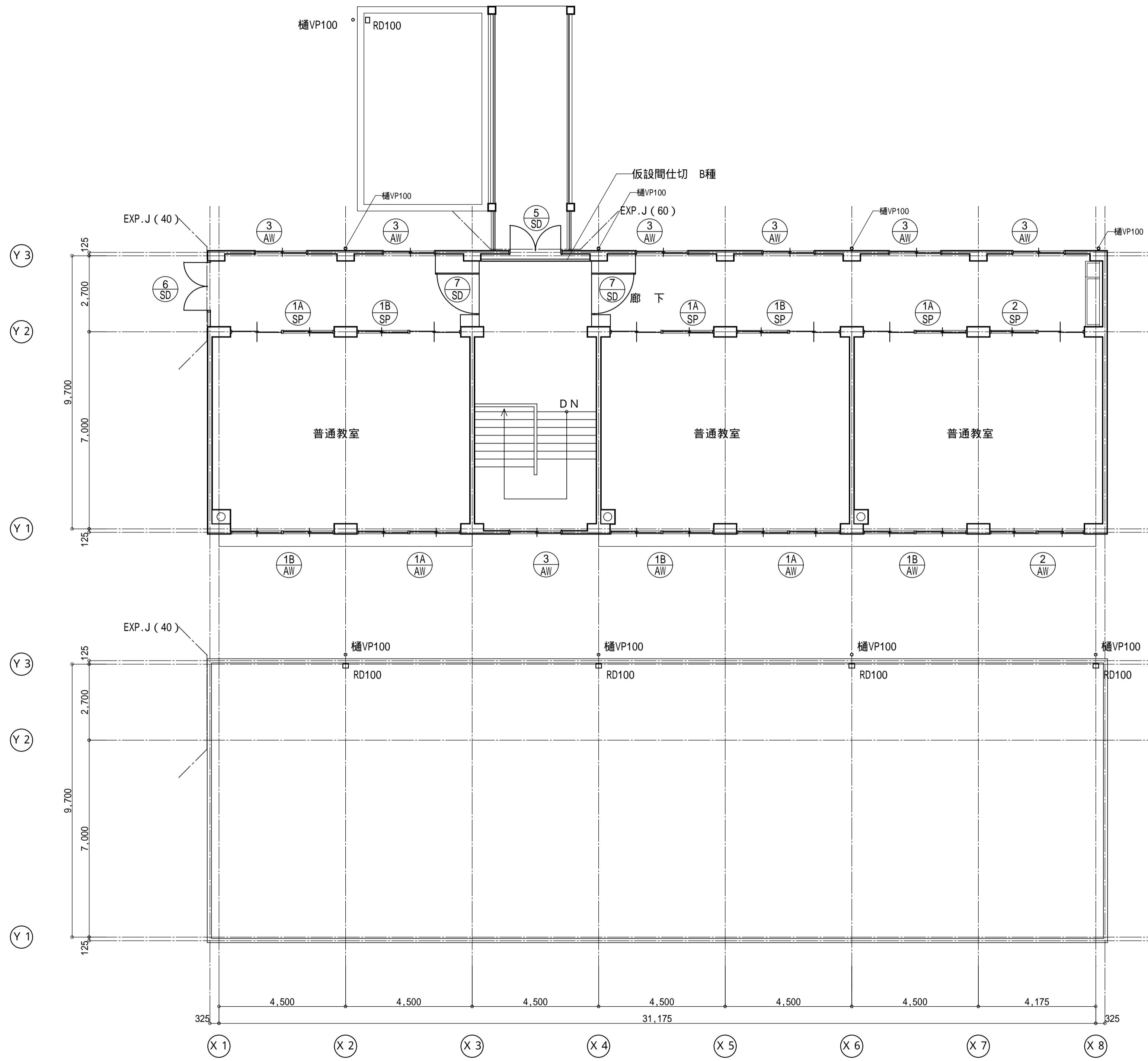
床上換気口 (SUS製) を示す

鋼製床組範囲を示す

- 1階 造付家具等
- 黒板 W3,600xH1,400xD35 2箇所
  - 黒板 W2,700xH850 x D30
  - 白板 W2,700xH900xD30
  - 掲示板 W1,365 x H1,400xD20 2箇所
  - 掲示板 W1,130xH1,400xD20 2箇所
  - 掲示板 W5,460xH1,800xD20
  - 掲示板 W1,200xH3,600xD20
  - 掲示板 W1,200 x H3,600x20
  - 掲示板 W3,250 x H1,800x20
  - 掲示板 W2,800xH950 x D20
  - 掃除用具入 (木製) W500xD400xH1,800
  - ロッカー (木製) W2,800xD400xH900
  - ロッカー (木製) W2,750xD400xH900
  - 流し台 W600xH550xH800
  - 冷蔵庫 W490xD470xH1,800

特記	縮尺	A2 1/100, 1/30	図番	A - 13				
	縮尺	A3 70.7%						
設計	決定	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
					東宇治中学校旧館棟解体工事	【旧館棟】 【解体・撤去】1階平面図		
株式会社山崎設計		設計年度		令和	年	月		





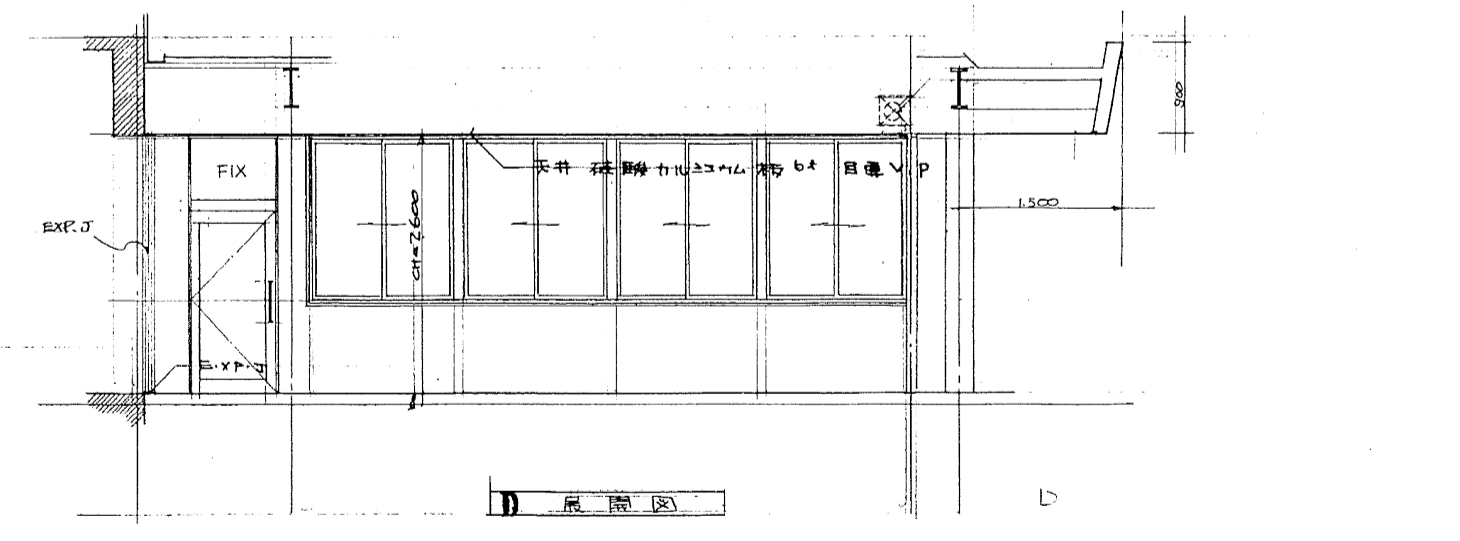
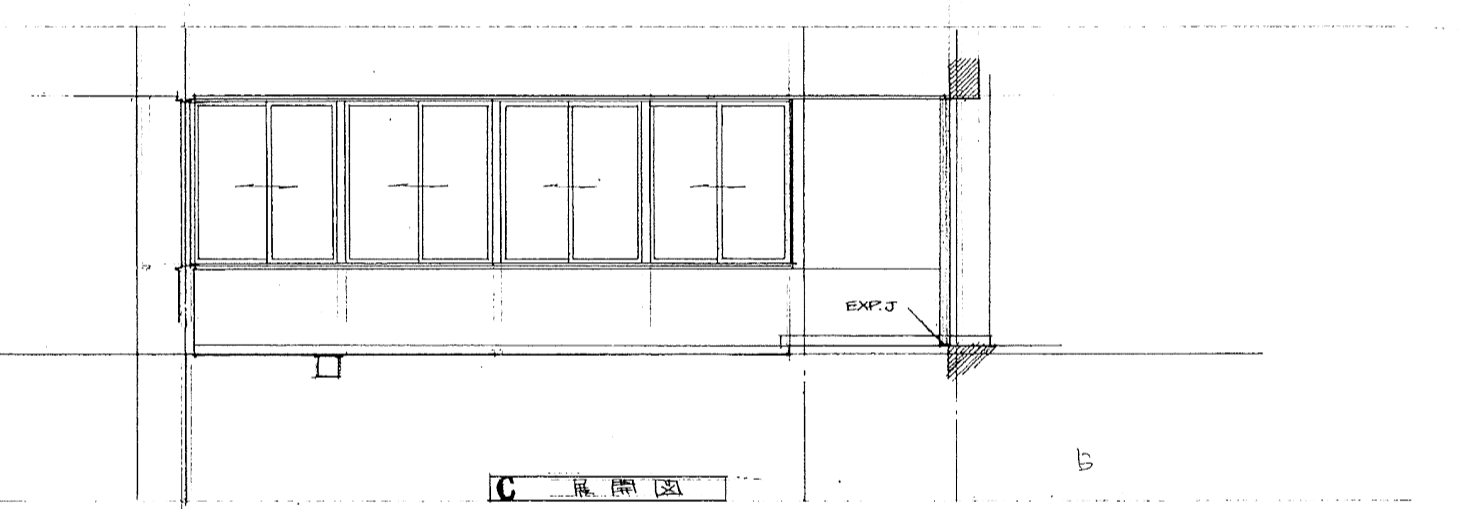
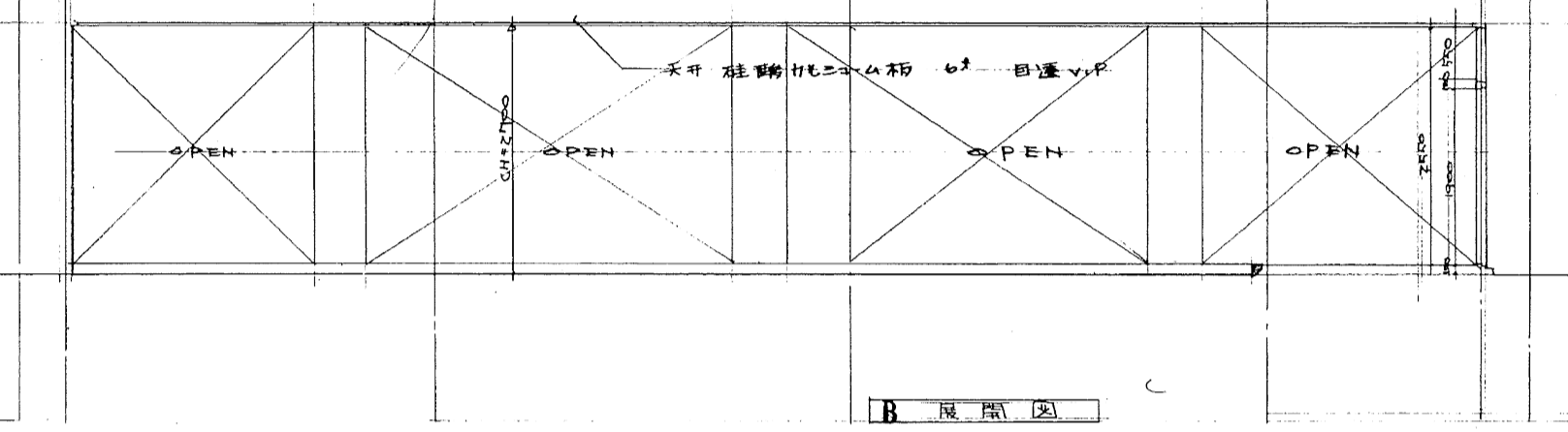
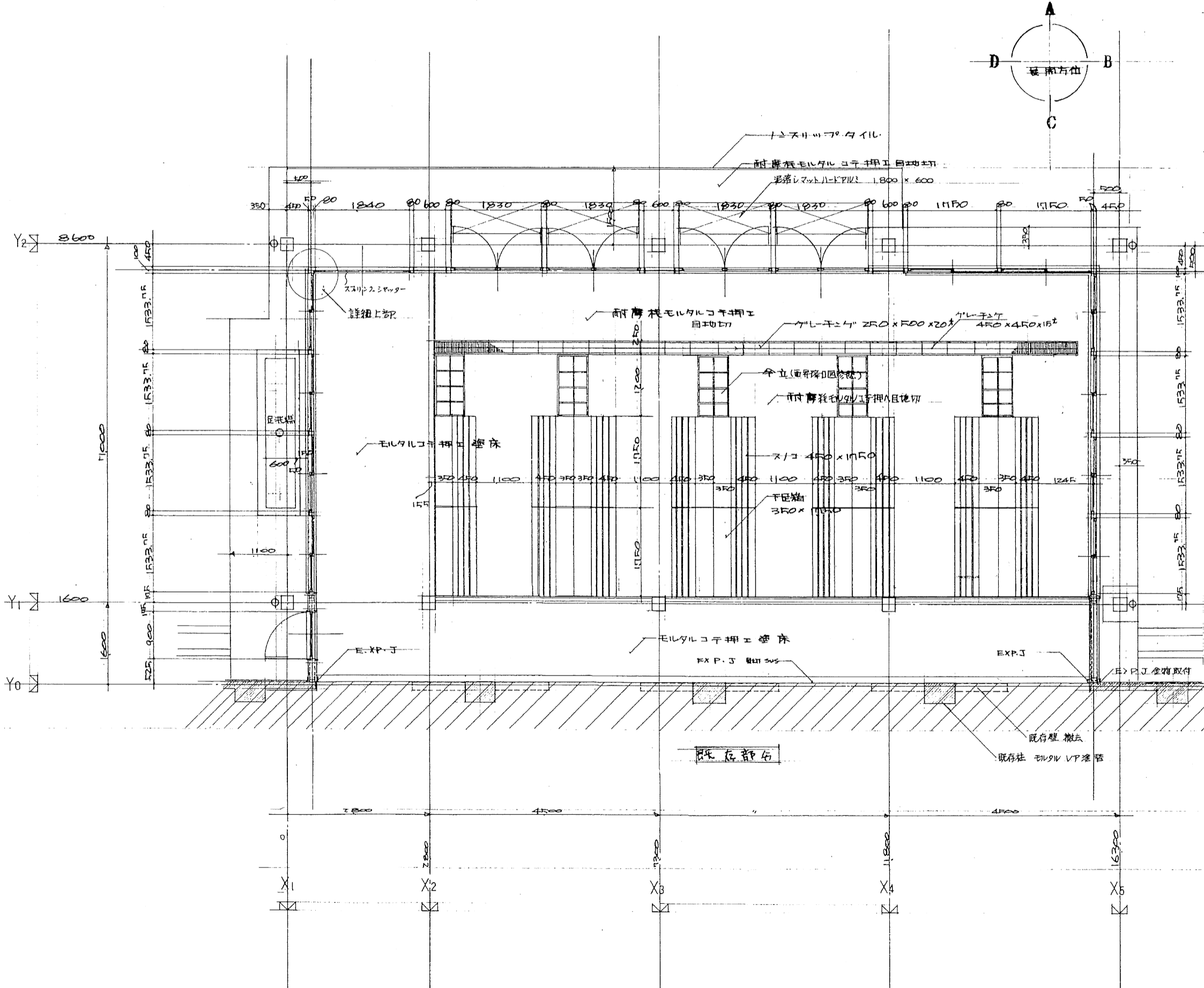
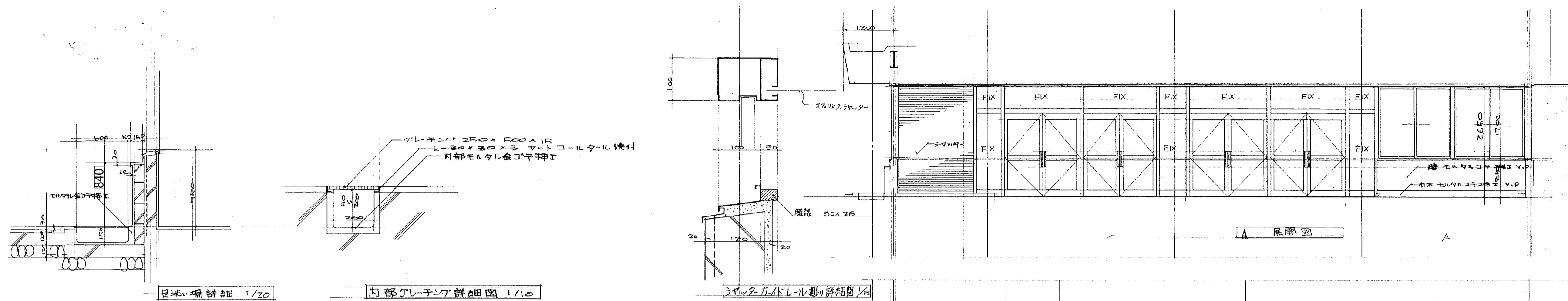
3階平面図

屋根伏図

特 記	1/100		1/300		1/500		1/900		1/1200		1/1500		1/2000		1/2500		1/3000		1/3500		1/4000		1/4500		1/5000		1/5500		1/6000		1/6500		1/7000		1/7500		1/8000		1/8500		1/9000		1/9500		1/10000	
	株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士大臣登録 第219288号 山崎友也																																													
	設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番																																					
	載				東宇治中学校旧館棟解体工事	【旧館棟】 【解体・撤去】3階平面図・屋根伏図	A2 1/100 A3 70.7%	A - 15																																						
設計番号	設計年度	令和	年	月																																										







特記	1/100	1/300	1/500	1/800	1/1000	1/1500	1/2000	1/3000	1/4000	1/5000	1/6000	1/8000	1/10000	1/15000	1/20000	1/30000	1/40000	1/50000	1/60000	1/80000	1/100000
	株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士大臣登録 第219288号 山崎友也										設計	決	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番		
	設計番号			設計年度			令和 年 月		欄		東宇治中学校旧館棟解体工事		【旧館棟】 【解体・撤去】昇降口平面詳細図・展開図		A2 1/80 A3 -	A - 18					

符号	数量	① SW	1箇所	① SD (修繕)	1箇所	② SD	1箇所	③ SD	1箇所	④ SD	1箇所	
窓図												
形状	スチール製袖FIX付2連引き違い窓		スチール製シャッター・FIX・欄間・引き違い窓付4連両開き戸		スチール製欄間付き両開き戸		スチール製欄間付き片開き戸		スチール製両開き戸			
室名	1階:昇降口		1階:昇降口		1階:廊下		1階:廊下		1階:階段			
材質	スチール		スチール		スチール		スチール		スチール			
仕上	-		OP		OP		OP		OP			
枠見込	100		100		100		100		100			
建具見込	-		40		40		40		40			
硝子	網入り透明ガラスt=6.8		網入り透明ガラスt=6.8 FIX部透明ガラスt=3		網入り透明ガラスt=6.8 欄間部透明ガラスt=3		網入り透明ガラスt=6.8 欄間部透明ガラスt=3		網入り透明ガラスt=6.8 欄間部透明ガラスt=3			
金物等	クセント、アングル、水切、引手、戸車、付属金物一式		クセント、アングル、水切、引手、戸車、SUSレール、フロアヒンジ、フランス落し、シリンドー錠、DC		SUS製沓摺、アングルピース、ピボットヒンジ、DC		SUS製沓摺、アングルピース、フロアヒンジ、DC		SUS製沓摺、アングルピース、ピボットヒンジ、DC			
備考	内部:鋼製額縁 OP塗		SUS製棒状引手L=500、付属金物一式		シリンドー錠、サムターン、掘込引手、付属金物一式		シリンドー錠、サムターン、棒状引手、付属金物一式		シリンドー錠、サムターン、棒状引手、付属金物一式			
符号	数量	⑤ SD	2箇所	⑥ SD	2箇所	⑦ SD	5箇所	⑧ SD	1箇所	⑨ SD	3箇所	
窓図												
形状	スチール製欄間付き両開き戸		スチール製両開き戸		スチール製片開き戸		スチール製片開き戸 くり戸付		スチール製片開き戸			
室名	2階・3階:廊下		2階・3階:廊下		1階・2階・3階:階段		1階:階段		1階・2階:PS			
材質	スチール		スチール		スチール		スチール		スチール			
仕上	-		OP		OP		OP		OP			
枠見込	100		100		100		100		80			
建具見込	-		40		40		40		40			
硝子	網入り透明ガラスt=6.8		網入り透明ガラスt=6.8 欄間部透明ガラスt=3		-		-		網入り透明ガラスt=6.8 欄間部透明ガラスt=3			
金物等	SUS製沓摺、アングルピース、ピボットヒンジ、DC		SUS製沓摺、アングルピース、ピボットヒンジ、DC		丁番、順位調整器、ケースハンドル		丁番、順位調整器、ケースハンドル		丁番、ケースハンドル、付属金物一式			
備考	内部:鋼製額縁 OP塗		内部:鋼製額縁 OP塗		特定防火設備 煙感知器連動 鋼製額縁 OP塗		特定防火設備 煙感知器連動 鋼製額縁 OP塗		鋼製額縁 OP塗			
符号	数量	① LSD	4箇所	① SS	2箇所	① GB	4箇所					
窓図												
形状	軽量鋼製片引吊戸		鋼製シャッター (煙感知器連動)		鋼製ガラスブロック窓							
室名	1階・2階:便所(女)・便所(男)		1階:廊下・階段		1階・2階:便所(女)・便所(男)							
材質	化粧鋼板		SOP									
仕上	-		-		-							
枠見込	110		110		110							
建具見込	30		30		30							
硝子	学校用型板強化ガラスt=4		-		-							
金物等	SUS製棒状引手、SUS製ガイドレール、SUS製ハンガーレール、戸当、付属金物一式		SUS製棒状引手、SUS製ガイドレール、SUS製ハンガーレール、戸当、付属金物一式		ガラスブロック 150角							
備考	鋼製額縁 SOP塗		特性防火設備		スチール枠							

符号	数量	①A AW	5箇所	①B AW	7箇所	② AW	2箇所	③ AW	16箇所	④ AW	4箇所	⑤ AW	3箇所					
窓図																		
形状	アルミ製欄間付2連引き違い窓			アルミ製欄間付2連引き違い窓			アルミ製欄間付2連引き違い窓			アルミ製2段引き違い窓			アルミ製2段引き違い窓			アルミ製欄間付2連引き違い窓		
室名	1階:相談室3、2階・3階:普通教室			1階:作業場、2階・3階:普通教室			1階:相談室3、2階・3階:普通教室			1階・3階:廊下、階段			1階・2階:便所(女)、便所(男)			1階:来客室、SCルーム、相談室2		
材質	アルミ		アルマイト処理	アルミ		アルマイト処理	アルミ		アルマイト処理	アルミ		アルマイト処理	アルミ		アルマイト処理	アルミ		アルマイト処理
枠見込	70		-	70		-	70		-	70		-	70		-	70		-
硝子	上部:透明ガラスt=3 下部:すりガラスt=3			上部:透明ガラスt=3 下部:すりガラスt=3			上部:透明ガラスt=3 下部:すりガラスt=3			上部:透明ガラスt=3			上部:透明ガラスt=3			上部:学校用強化透明ガラスt=4 下部:学校用強化型板ガラスt=4		
金物等	クレセント、アングルビス、水切、引手、戸車、付属金物一式			クレセント、アングルビス、水切、引手、戸車、付属金物一式			クレセント、アングルビス、水切、引手、戸車、付属金物一式			クレセント、アングルビス、水切、引手、戸車、付属金物一式			クレセント、アングルビス、水切、引手、戸車、付属金物一式			クレセント、アングルビス、水切、引手、戸車、付属金物一式		
備考	内部:アルミ製額縁			内部:アルミ製額縁			内部:アルミ製額縁			内部:アルミ製額縁			内部:アルミ製額縁 アルミ製面格子付き			内部:アルミ製額縁		
符号	数量	① AD	1箇所	①A SP	9箇所	①B SP	4箇所	② SP	2箇所	③ SP	1箇所	④ SP	1箇所					
窓図																		
形状	アルミ製欄間付2連引き違い窓・引き違い戸			スチール製学校用間仕切り			スチール製学校用間仕切り			スチール製学校用間仕切り			スチール製学校用間仕切り			スチール製学校用間仕切り		
室名	1階:用務員室			1階:用務員室、相談室3、作業場、2階・3階:普通教室			2階・3階:普通教室			2階・3階:普通教室			1階:来客室			1階:SCルーム		
材質	アルミ		アルマイト処理	スチール		化粧鋼板	スチール		化粧鋼板	スチール		化粧鋼板	スチール		化粧鋼板	スチール		化粧鋼板
枠見込	70		-	80		30	80		30	80		30	80		30	80		30
硝子	透明ガラスt=3、すりガラスt=3、網入り透明ガラス			すりガラスt=3 欄間部透明ガラスt=3			すりガラスt=3 欄間部透明ガラスt=3			すりガラスt=3 欄間部透明ガラスt=3			すりガラスt=3 欄間部透明ガラスt=3			すりガラスt=3 欄間部透明ガラスt=3		
金物等	クレセント、アングルビス、水切、引手、戸車、付属金物一式			引手、戸車、シリンドー錠、サムターン クレセント、引手、付属金物一式			引手、戸車、シリンドー錠、サムターン クレセント、引手、付属金物一式			引手、戸車、シリンドー錠、サムターン クレセント、引手、付属金物一式			引手、戸車、シリンドー錠、サムターン クレセント、引手、付属金物一式			引手、戸車、シリンドー錠、サムターン クレセント、引手、付属金物一式		
備考	内部:アルミ製額縁			鋼製額縁 SOP塗 下枠 ステンレス板t=1.5			鋼製額縁 SOP塗 下枠 ステンレス板t=1.5			鋼製額縁 SOP塗 下枠 ステンレス板t=1.5			鋼製額縁 SOP塗 下枠 ステンレス板t=1.5			鋼製額縁 SOP塗 下枠 ステンレス板t=1.5		
符号	数量	⑤ SP	1箇所	① WP	1箇所	① WD	5箇所	② WD	1箇所	③ WD	1箇所							
窓図																		
形状	スチール製学校用間仕切り			木製学校用間仕切り			木製片引き戸			木製片引き戸			木製片引き戸					
室名	1階:SCルーム			1階:相談室1			1階:用務員室、相談室3、作業場、物置、SCルーム			1階:来客室			1階:階段下物置					
材質	スチール		化粧鋼板	木		SOP	木		SOP	木		化粧合板	木		化粧合板			
枠見込	80		30	110		30	110		36	110		36	110		36			
硝子	すりガラスt=3 欄間部透明ガラスt=3			型板強化ガラスt=4 欄間部透明ガラスt=3			型板強化ガラスt=4			型板強化ガラスt=4								
金物等	引手、戸車、シリンドー錠、サムターン クレセント、引手、付属金物一式			引手、戸車、シリンドー錠、サムターン クレセント、引手、付属金物一式			引手、戸車、シリンドー錠、サムターン 引手、付属金物一式			丁番、握り玉、シリンドー錠、サムターン 付属金物一式			丁番、握り玉、シリンドー錠、サムターン 付属金物一式					
備考	鋼製額縁 SOP塗 下枠 ステンレス板t=1.5			木製額縁 SOP塗 下枠 ステンレス板t=1.5			木製額縁 SOP塗 下枠 ステンレス板t=1.5			木製額縁 SOP塗 アルミガラリ			木製額縁 SOP塗					

特記	1/100 1/300 1/500 1/700 1/900 1/1100 1/1300 1/1500 1/1700 1/1900 1/2100 1/2300 1/2500 1/2700 1/2900 1/3100 1/3300 1/3500 1/3700 1/3900 1/4100 1/4300 1/4500 1/4700 1/4900 1/5100 1/5300 1/5500 1/5700 1/5900 1/6100 1/6300 1/6500 1/6700 1/6900 1/7100 1/7300 1/7500 1/7700 1/7900 1/8100 1/8300 1/8500 1/8700 1/8900 1/9100 1/9300 1/9500 1/9700 1/9900 1/1000										設計	決裁	課長	係長	係	工事名	図名	縮尺	図番
	株式会社山崎設計 一級建築士事務所京都府知事登録(06A)第02439号 一級建築士 大臣登録 第219288号 山崎友也 設計番号 設計年度 令和 年 月															東宇治中学校旧館棟解体工事	【旧館棟】 【解体・撤去】建具表(2)	A2 1/100 A3 70.7%	A - 20